

# 「価値志向性尺度」における 順序関係の分析

酒井 恵子 (さかい けいこ)  
教職教室 准教授



用途・応用分野：心理測定、パーソナリティ理解

## ■ 研究シーズ概要

本研究は、E. シュプランガーの価値類型論に基づき、「理論」「経済」「審美」「宗教」「社会」「権力」という6つの価値への志向性を測る心理テスト（「価値志向性尺度」）を開発し、さらにこの尺度を素材として、心理尺度に含まれる

項目間の順序関係を樹状図により表現する「順序関係分析」という手法を確立し、様々な心理尺度の項目分析、さらには測ろうとする心理特性の構造の解明にも役立つ手法として提供し、様々な心理学研究に貢献することを目指しています。



図1 E. シュプランガーによる6つの普遍的価値

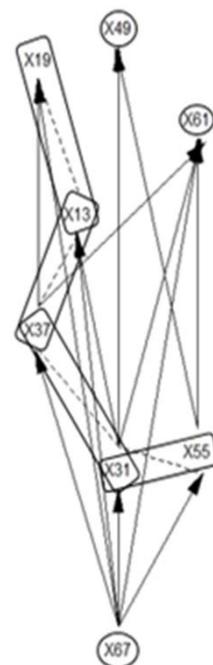


図2 「理論的志向性」尺度の樹状図

## ■ 研究シーズの特徴

- ①「価値志向性尺度」は、その人の基本的なモチベーションや、認知・行動のパターン、興味関心の方向性などを捉えるのに適した心理テストです。
- ②「順序関係分析」は、心理テストに含まれる項目間の関係を図示することにより、テストの妥当性をさらに高めるためのヒントを提供します。また、測ろうとする心理特性の、素朴な形態から高度な形態に至る発展の過程についてヒントを提供します。

